



新八千代病院
Shinyachiyo Hospital

回復期リハビリテーション病棟



回復期リハビリテーション病棟とは、脳血管疾患を発症した方や大腿骨を骨折した方などに対して、日常の生活動作を向上させるためのリハビリテーションを行う病棟のことです。病気や怪我などによるダメージがまだ大きく残っている時期に、集中的なリハビリテーションを実施することにより、心身の回復した状態となることを目的としています。

新八千代病院では、「こんなことをしてみたい!」というご要望を専門スタッフがしっかりと聞きし、備わっている能力が引き出されるために最も適したリハビリテーションを行っていきます。わたしたちスタッフ一同、一人ひとりに合った生活環境を手に入れ退院後も豊かな人生を送っていただけるよう、真心を込めてサポートをいたします。

Rehabilitation Center
リハビリテーションセンター

新八千代病院
回復期リハビリテーション病棟の特長

01

ユニット制による 最適なリハビリテーション

当院では、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が8～9名で1つのユニットを作り、チーム全体で一人ひとりの状態に合わせたリハビリテーションを提供しております。ユニット制は、主治医を中心に多職種が連携しながら訓練目標や内容を決めるため、充実した診療体制のもとでリハビリ訓練の質を高める効果があります。



02

既往症や合併症への対応も 可能な診療体制

当院外来には多くの診療科を揃え、既往症や合併症をお持ちの方に対してもきめ細かく専門的に対応することが可能です。主治医と複数の診療科が連携し、入院される方へ継続的にフォローアップすることができる診療体制は、当院の特長の一つとなっております。



03

退院後の アフターケアも充分

退院後の生活に不安を感じられる方は多いと思います。退院後の状態が変化しやすい時期に、当院ではフォローアップのための外来を受診することができます。短期の入院や施設のご紹介など、ご相談に応じて一人ひとりに最適なご提案を行うことにより退院後の生活を継続的に支援いたします。

04

ご本人の立場に立ち おもてなしの気持ちを大切に

スタッフはこまめな清掃・整理整頓や明るい挨拶を心がけ、利用者さまにとって清潔で居心地のよい空間づくりを目指しております。当院をご利用の方すべてに「リハビリを受けてよかった」と思ってもらえるよう、充実感や喜びを得られるリハビリテーションの提供に努めてまいります。



05

強みを生かした リハビリアプローチ

～摂食嚥下専門のチームが対応～

当院では、安心して「食」を楽しんでいただきたいという思いから、摂食嚥下障害への診療に特に力を入れております。摂食嚥下障害は、肺炎、窒息、低栄養、脱水などのさまざまな問題を引き起こします。そこで、当院では嚥下専門の歯科医師を招き、その診断に基づき主治医・病棟スタッフ・リハビリスタッフ・歯科衛生士・管理栄養士が協力して摂食嚥下リハビリテーションを行っています。

この摂食嚥下リハビリテーションを実施する施設は県内でも限られており、当院では入院だけでなく外来でもお受けいただくことができます。

～健康管理の第一歩は口腔ケアから～

口腔ケアは虫歯や歯周病を予防するだけでなく、口腔内の細菌を減らすことによる感染症予防の目的があります。また最近の研究によると、口腔ケアは精神機能や日常生活の活性化につながるとも言われています。当院では、歯科衛生士・病棟スタッフが口腔ケアを徹底し、口腔の衛生管理に努めています。

～専門的な評価を用いた 高次脳機能障害のリハビリ～

高次脳機能障害とは、脳卒中や頭部外傷などに伴い言語・思考・記憶・注意などの障害を抱え、日常生活や社会生活に問題が生じる状態です。この障害は本人が症状を自覚しない場合も多く、外見上目立たないため周囲からさまざまな誤解を受けやすいことが特徴です。

当院では臨床心理士・言語聴覚士が専門的評価手法を用いて機能障害を精査し、主治医・リハビリテーション専門医の診断のもとで、病棟スタッフ・リハビリスタッフが協力し合い集中的なリハビリテーションを行っています。

《高次脳機能障害の具体的な症状》

記憶障害	新しいことが覚えられない
注意障害	ぼんやりしている、注意散漫
半側空間無視	いつも片側にあるものを見落とす
社会的行動障害	いつもイライラしていたり、意欲が欠如している
失語症	言葉を聞いたり、話したりすることが難しい
失認症	物事を正しく認識できない
失行症	道具を使った行為が難しい



～リハビリ専門医が関わる診療体制と 先進的な医療機器の導入～

当院は、リハビリ専門医の資格を有する医師が直接診療を行う体制となっております。リハビリ専門医は、診断・治療やリハビリ計画の策定、療法士の技術指導や治験の取り組みに至るまで積極的に関与し、質の高い医療を提供しています。

また、テクノロジーを生かしたリハビリを行うことにより最大限の機能回復につながることを目指し、先進的なリハビリテーション機器を積極的に導入しています。



～インテレクト バイタルスティム～

インテレクト バイタルスティムは、摂食嚥下障害の治療用に開発された神経筋電気刺激装置です。喉の表面に電極を貼り、電気刺激を与えることで筋の再教育を図り、摂食嚥下機能の改善を促します。



～HAL® 自立支援用下肢タイプ Pro～

HAL®自立支援用下肢タイプProは、下肢に障害がある維持期・生活期の方や脚力が弱くなった方の下肢の運動をアシストすることで、機能の維持・向上を促進する装着型のロボットです。



" Prof. Sankai University of Tsukuba / CYBERDYNE Inc. "

～IVES（随意運動介助型電気刺激）～

IVES（随意運動介助型電気刺激）は、手指などの麻痺した筋肉の微弱な筋電信号を電極で感知し、最も適した電気刺激を麻痺した筋肉に与え、筋肉の動きを改善させることを目指した携帯型の電気刺激装置です。



～ウォークエイド（歩行神経筋電気刺激）～

ウォークエイド（歩行神経筋電気刺激）は、歩行に合わせて腓骨神経を電気刺激することで足関節の背屈を補助し、中枢神経障害による下垂足・尖足の歩行改善を目的とした電気刺激装置です。



入院から退院までの流れ

step

1

ご入院

入院当日は、はじめに入院時検査を行います。つづいて、主治医が初回の診察を行い、検査の結果と合わせ評価をしていきます。その後、リハビリスタッフなどの専門職が身体機能の検査を実施し、その結果に基づき日常生活能力についての評価を行っていきます。

step

2

リハビリテーション

入院された方の個々の状態に応じてリハビリテーションプログラムが組まれ、理学療法、作業療法、言語聴覚療法、心理療法を実施していきます。リハビリテーションの開始です。

step

3

カンファレンス

カンファレンスでは、入院された方の状態やリハビリテーションの方針について話し合いを行います。ご本人やご家族の意向をお聞かせいただき、担当する多職種にて検討を重ねていきます。



退院に向けての調整

自宅や施設等の退院予定先の違いといった状況をふまえながら、退院に向けての調整を行います。ご本人の状態やご家族の事情等を考慮しながら複数の専門職が集まって検討を行い、退院後の具体的な療養生活についてご提案いたします。施設入所や転院等をご希望される方は、いつでも病棟や医療福祉相談室に相談していただくことができます。スタッフ一同、退院される方が再発を予防し日常生活の質を高め、充実した日々をお送りいただけますよう誠実に努めます。

■ ご自宅への退院の場合には

家屋調査、住宅改修のご提案

家屋について調査を行い、ご家族の方とも相談しながら、住宅を改修する必要がある場合にはご提案させていただきます。

家庭介護訓練、外出・外泊

ご自宅での生活を想定した中で、介護の方法や工夫のアイデアを適宜ご提案いたします。リハビリスタッフや看護師とともに介助方法の練習を行い、外出や外泊をくり返し試していきながら、無理のないイメージのなかで生活そのものを取り戻していく道筋を考えていきます。

在宅調整会議・サービス担当者会議

ご自宅での生活に向け、介護保険サービス担当者等の関係機関と連絡調整をするための会議を行います。ご自宅での生活に必要な福祉用具や福祉サービスから、かかりつけ医のことにいたるまで、退院後の生活について具体的な話し合いを行います。

ご退院

退院後においても、わたしたちは関係機関と連携を常に図り、退院された方のその後の生活状況等についてお伺いするなど、さまざまなフォローアップを行います。

フォローアップ外来

退院後の状態が変化しやすい時期に、当院ではフォローアップのための外来を受診することができます。短期の入院や施設のご紹介など、ご相談に応じて一人ひとりに最適なお提案を行うことにより退院後の生活を継続的に支援いたします。

訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーションとは、要介護状態となった方に対し、心身の状態の回復および悪化の防止を図り、ご自宅で安心して過ごせるように、適切な治療計画に基づき一人ひとりの状況に応じたリハビリテーションを行うサービスです。療法士がご自宅に訪問して、リハビリテーションを行います。

通所リハビリテーション

通所リハビリテーションとは、要介護状態となった方に対し、心身の状態の回復および悪化の防止を図るため、ご利用の方にご自宅から通っていただき、施設内で療法士がリハビリテーションを行うサービスです。

入院中のサービス

◎お食事

食事時間

朝食 7:30 | 昼食 12:00 | 夕食 18:00 |

入院中のお食事は、お一人おひとりの病状に応じて準備いたしております。食べにくい、飲みにくいといったお困りのことや、お食事に関するご要望等がございましたら、いつでも看護師をはじめとするスタッフにご相談ください。

また、退院される前日に特別メニューの「お祝い御膳」を召し上がっていただくご用意をしております。「お祝い御膳」は、病院すぐ隣の「Shinwa medical resort」内にある日本料理店にて提供いたします。



◎付き添いについて

当院では、十分な看護体制を整えており、特別な付き添いの必要はございません。ただし、ご家族が特に付き添いをご希望される場合には、遠慮なくスタッフにご相談ください。

◎外出・外泊について

外出・外泊をご希望の場合は、病棟スタッフにお申し出ください。病状が安定している際には、リハビリテーションの一環として外出・外泊をサポートいたします。

◎お見舞い・ご面会について

お見舞い・ご面会は、ご家族やご友人と過ごされる大切な時間であり、穏やかな安らぎのひとつをお過ごしいただきたいと考えております。

面会時間 11:00～19:00

※面会時間に来院が難しく、時間外の面会を希望される場合は病棟看護師にご相談ください。

◎Wi-Fiサービス



フリーWi-Fiサービスを提供しております。

詳しくは1階入院相談センターまでお問い合わせください。



《 1 日のスケジュール 》 お一人おひとりに合わせた訓練スケジュールを立案します。

①	6:00	起床 洗顔	病棟スタッフが自立に向けて援助します
④	7:30	朝食 歯磨き 着替え	病棟スタッフが自立に向けて援助します
🕒	9:00	午前リハビリ 入浴	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が マンツーマンでリハビリを行います ご本人の状態に適した方法で入浴します
①	12:00	昼食 歯磨き	食事のリハビリを行います 病棟スタッフが自立に向けて援助します
🕒	13:00	午後リハビリ	マンツーマンでリハビリを行います
①	18:00	夕食 歯磨き	病棟スタッフが自立に向けて援助します
🕒	21:00	消灯	

心地よい空間の中で、
笑顔溢れるリハビリテーションを提供いたします。

理学療法



歩行訓練をはじめ身体機能の改善を目指した訓練が行われます。

機能訓練スペース



多くの方にご利用いただけるように治療機器や治療用ベッドを十分に用意しています。

自主トレーニングスペース



お一人でもマシン機器を使用してトレーニングできるようなスペースを設けています。

物理療法室・水治療室



痛みを和らげたり、こわばりを少なくするために、特殊な水流を用いて治療します。

屋外訓練室



舗装路と違った感触が得られるように、芝生、砂利道、木道などの未整地で歩行練習を行います。

作業療法



なじみのある生活行為や作業を通じた機能訓練（巧緻訓練・協調性訓練等）を通して回復を目指します。

作業療法スペース



明るい空間で快適なリハビリテーションが行われます。

生活訓練室



和室やリビングなど実際の生活をイメージした部屋を使って、福祉用具や自助具を用いた訓練を行います。

個別リハビリスペース



プライバシーに配慮した個別訓練スペースも用意しています。

個別療法室



静かな環境で集中してリハビリテーションに取り組めるように個別療法室が用意されています。

言語聴覚療法



失語症や構音障害などの言語障害の方へのリハビリテーションを行います。

言語聴覚療法室



集中しやすい環境の中で言語療法や高次脳機能訓練を行います。

入院のための手続き

step

1

入院相談

入院をご検討中の方は、入院相談センター にご連絡ください

入院相談センター（受付：月曜～土曜日9：00～17：00）

TEL047-488-3251（代表）／FAX047-488-8807

※ 現在ご入院中の方は、入院先の医療相談担当者にご相談ください。

入院前には一度ご家族にご来院いただき、その際に入院のご案内をさせていただきます。



step

2

入院日のご連絡

入院される5日位前に紹介医療機関を介して、ご家族に入院日のご連絡をさせていただきます。



step

3

ご入院

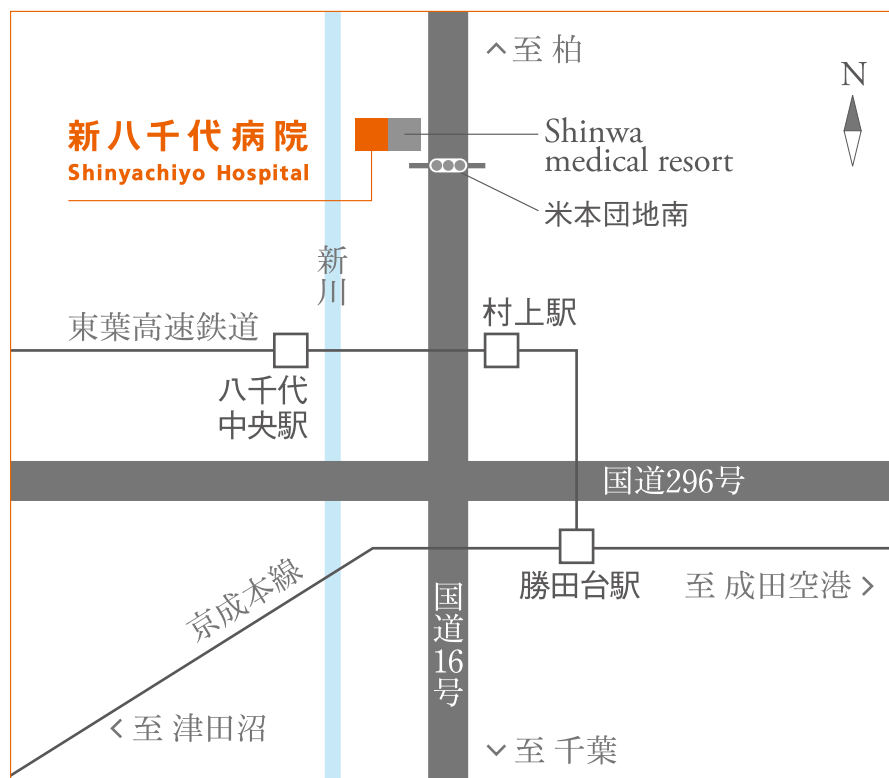
入院時にご用意していただくもの等につきましては、「入院のご案内」パンフレットをご参照ください。

《 入院の対象となる方 》

- ・脳血管疾患、脊髄損傷等の発症または手術後2ヶ月以内の方
- ・大腿骨、骨盤等の骨折の発症または手術後2ヶ月以内の方
- ・外科手術または肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術または発症後2ヶ月以内の方
- ・大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝関節等の神経、筋、靱帯損傷後1ヶ月以内の方
- ・股関節又は膝関節の置換手術後1ヶ月以内の方

MAP

交通のご案内



●京成電鉄・東葉高速鉄道／勝田台駅からのご案内

勝田台駅から東洋バスで米本団地行約15分
米本団地入口下車徒歩2分

●東葉高速鉄道／八千代中央駅からのご案内

八千代中央駅から東洋バスで米本団地行約10分
米本団地入口下車徒歩2分

●病院バスをご利用の場合

当院では送迎バスを運行しております。
ホームページにてバス時刻表をご覧ください。
詳細はお問い合わせください。

●お車をご利用の場合

国道16号線
(柏方面より) 米本団地南交差点を右折
(千葉方面より) 米本団地南交差点を左折

〒276-0015 千葉県八千代市米本2167

TEL. **047(488)3251** (代)

FAX. **047(488)8807**

<http://harmonic hearts.or.jp/shinyachiyo/>

新八千代病院

Shinyachiyo Hospital